

シンポジウム開催

# 大エジプト博物館のいま ファラオの至宝をまもる

エジプトから建設・修復保存の責任者が来日！

2023年8月5日(土)、国立民族学博物館(大阪府)にて、大エジプト博物館、国際協力機構(JICA)、国立民族学博物館が主催するシンポジウム「大エジプト博物館のいま—ファラオの至宝をまもる2023」を開催します。

エジプト・ギザで開館準備を進めている「大エジプト博物館」は、展示面積が5万平方メートル、収蔵品は10万点を超え、単一文明を扱う博物館として世界最大級の博物館です。5000点を超えるツタンカーメン・コレクションやクフ王のピラミッド脇に埋蔵されていた2艘の船、通称「クフ王の船」等数多くの展示が予定され、世界有数の博物館になると言われています。

日本政府は大エジプト博物館建設に向け2006年から博物館建設に関する協力をを行い、建物の建設だけでなく、文化遺産の保存修復に関する技術協力等を通じて現地の人材育成にも関わってきました。国立民族学博物館とJICA 関西が実施してきた博物館学に関する研修には、これまでに、エジプトから総勢19名、そのうち大エジプト博物館からは15名の職員が参加してきました。

本シンポジウムでは、大エジプト博物館プロジェクトの総責任者であるアーテフ・ムフターフ氏および保存修復執行部門長アイーサ・ジダン氏をお招きし、博物館の準備状況についてお話するとともに、日本の協力が大エジプト博物館の開設にどのように関わってきたかをお伝えします。

インタビューご希望の場合は、シンポジウム終了後 **17時-18時**に調整いたします。取材ご希望の場合は前日までにお問い合わせ先までご連絡ください。

日時:2023年8月5日(土) 13:30~16:45(開場 12:30)

場所:国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール(講堂) 最寄駅:大阪モノレール「万博記念公園駅」

主催:大エジプト博物館、国際協力機構(JICA)、国立民族学博物館

共催:文化財保存修復学会

後援:ICOM 日本委員会、公益財団法人日本博物館協会、全日本博物館学会

日本文化財科学会、日本ミュージアム・マネジメント学会、エジプト・アラブ共和国大使館

定員:【会場参加】350名 【ライブ中継】300名

言語:日本語・英語・アラビア語(逐次通訳あり)

参加費:無料 詳細・お申込:[https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec\\_event/44476](https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec_event/44476)

## プログラム

13:30-13:35	開会挨拶	吉田憲司(国立民族学博物館館長)
13:35-13:40	開会挨拶	木村出(JICA 関西所長)
13:40-14:10	基調講演	「大エジプト博物館のいま」 アーテフ・ムフターフ(大エジプト博物館プロジェクトおよび周辺地域総責任者)
14:10-14:30	講演	「大エジプト博物館の開館への道のり」 アイーサ・ジダン(大エジプト博物館保存修復執行部門長)
14:30-14:50	講演	「エジプトにおける博物館の役割の変化」 モーメン・オスマン(エジプト観光考古省博物館セクター長)(事前収録)
14:50-15:05	休憩	
15:05-15:25	講演	「大エジプト博物館保存修復センターへの日本の支援」 松田泰典(東洋美術学校保存修復科 教育研究スーパーバイザー)
15:25-15:45	講演	「民博によるエジプトへの支援:博物館とコミュニティ開発」 末森薫(国立民族学博物館准教授)
15:45-15:50	休憩	
15:50-16:40	パネルト ーク	「大エジプト博物館の未来」 質問への回答 司会:日高真吾(文化財保存修復学会副理事長/国立民族学博物館教授) パネリスト:アーテフ・ムフターフ、アイーサ・ジダン、松田泰典、末森薫、他
16:40-16:45	閉会挨拶	園田直子(国立民族学博物館教授)

## 【登壇者紹介】


**アーテフ・ムフターフ** 当日取材可 17:00-18:00  
 (大エジプト博物館プロジェクトおよび周辺地域総責任者)

エジプト大統領より任命され2016年より現職。博物館建設の総責任者として建設の加速化を主導、事業を完成目前まで導いた。博物館周辺地域を新しい観光の首都にするエジプト政府のビジョンの下、大エジプト博物館をとり巻くギザ周辺地域事業の開発責任者としても指揮をとっている。


**アイーサ・ジダン** 当日取材可 17:00-18:00(大エジプト博物館保存修復執行部門長)

2007年から大エジプト博物館保存修復センター設立に携わって以来、同センターにて大エジプト博物館に移送する文化財の応急処置・梱包移送部長として従事。クフ王第1の船の移送をギザ台地から実現するなど、移送が困難を極めるといわれていた文化財の大エジプト博物館の移送を成功に導いている。2008年よりクフ王第2の船発掘・修復/展示プロジェクトの保存修復スーパーバイザーも兼任している。

## 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 研修業務課 小西、小川

TEL 078-261-0383 e-mail : Konishi.Yoko.2@jica.go.jp/Ogawa.Kazumasa@jica.go.jp